

【破砕業】

1. 事業計画書及び収支見積書 様式1 (記載例)

本例はあくまでも一つの記入例であるので、各自のものを記入すること。

事業計画書及び収支見積書 (様式1)

平成16年 7月 1日 現在作成

1-1. 事業の全体計画 (業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種を含む。)

<p>解体業者から解体自動車を引取り、シュレディングマシンで破砕後、鉄、非鉄、ASRに分別する。一部解体自動車をプレスして鉄スクラップ原料とする。分別・処理した物品の扱いは次のとおり。</p> <p>○鉄・・・電炉メーカーに売却 輸出業者に売却</p> <p>○非鉄金属・・・非鉄金属商社に売却</p> <p>○ASR・・・自動車メーカー等の指定する引取場所に引渡</p> <p style="text-align: right;">(フロー概略図を添付 (省略))</p>					
業務時間	8:30~17:00	従業員数	20人	休業日	日曜日・祝祭日

1-2. 解体自動車等の引取実績及び計画

年 度	13年度実績 (3年前)	14年度実績 (2年前)	15年度実績 (1年前)	許可取得後の 年間計画
引取台数	20,000台	22,000台	24,000台	25,000台
主な引取先	解体業者等	解体業者等	解体業者等	解体業者等

1-3. 破砕実績 (圧縮のみ含む)

年 度	13年度実績 (3年前)	14年度実績 (2年前)	15年度実績 (1年前)
年間処理実績	20,000台	22,000台	22,000台
年間稼働日数	280日	280日	280日
平均処理実績	71台/日	79台/日	79台/日

1-4. 破砕等能力

1日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
100台/日	280日	28,000台

1-5. 保管の状況

解 体 自 動 車		A S R	
保管量の上限	1,200台	保管量の上限	7,000 m ³
現在保管量	1,000台	現在保管量	22,000 m ³

(破産業)
1-6. 年間収支見積書

項目	前年度(15年) (決算月(3月))		今年度の見込み (決算月(3月))	
	年度 (千円)	(1台当) (円)	年度 (千円)	(1台当) (円)
売上高(全体)	276,000	12,000	524,000	20,000
売上原価	-120,000	-5,000	75,000	3,000
その他の経費	269,100	11,700	235,800	9,000
うち廃棄物処理委託費	92,000	4,000	26,200	1,000
営業収益	126,900	5,517	213,200	8,137
営業外損益	-3,000	-130	-3,000	-115
経常利益	123,900	5,387	210,200	8,023
解体自動車等年間引取台数	24,000		25,000	
解体自動車等年間処理台数	23,000		26,200	

(参考)

負債総額(年度末残高)	前年度末	現在
(千円)	100,000	100,000

(注)1 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。
2 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナスで計上すること。